

研究発表もうしこみフォーム

氏名：T・アルタンバガナ

氏名のローマ字表記：T・Altanbagana

所属：千葉大学大学院 人文公共学府 人文公共学専攻 博士後期課程

専門分野：文化人類学

発表のタイトル：内モンゴル自治区における歌舞団による地域文化資源の活用と保全

発表要旨（600字～800字程度）：

本発表では、まず内モンゴル自治区の歌舞団が地域社会形成においてどのような役割を担っているのかを解明する。その次に、内モンゴル自治区の地域文化資源がどのような特徴を持っているかを言及する。そして、それが歌舞団にいかに関与されているのかを論じる。

内モンゴルの歌舞団とは、1946年4月に内モンゴル自治区の元の主席であったウラーンフー（烏蘭夫）の指示によって成立された芸術歌舞団のことを指す。歌舞団は、最初に文工団という名前であった。文工団は、文学と芸術工作団体の略称である。文工団をベースにウラーンムチル歌舞団、モンゴル族青年合唱団、ウリゲル（物語）・モンゴル劇団などが発展した。

内モンゴルの歌舞団は主に二つの主題による公演を行う。一つは、政治宣伝であり、もう一つは、地域文化の特徴を備えた歌舞、芝居、漫才などである。本発表では、地域の文化としての地域の伝統、風俗、名勝が歌舞団のステージで演じられていることに注目する。そして、その特徴について明らかにする。

例えば、ホルチン（通遼市）地域のフレイ・ホショー（旗）はアンダイ舞踊が有名である。そのため、2016年のフレイ・ホショーのウラーンムチルの演目には「アンダイ郷情」、群舞の「真っ赤なアンダイ」があげられている。ホルチン左翼後旗では、砂漠のオアシスという大溝溝があつて、観光地として人気を博している。また宝の山と美称された双合爾山も古くから有名である。こうした地方の特徴を表した歌舞団のプログラムに「大溝溝賛」や「双合爾山賛」などがある。ダルハン・ホショーのガーダー・メリンの民話も英雄歌として多くの歌舞団によって演じられている。

赤峰市のオンニェート地域には、考古学者によると1971年、大量のC型龍形の^{ぎよく}玉を発見したという。そのため、「龍はオンニェート・ホショーの象徴であり、ウラーンムチルは龍のプログラムを演じる事によって地方の特徴を保っている」とオンニェート・ウラーンムチルのウエン氏は語る。